

北海道ぎょれん広報

なみまるくん

6
2024

No.428



「うみ・なかまコミュニケーション」



特集

ぎょれんのほたて対策事業 令和6年度事業方針
令和6年度 漁協購販推進全道地区委員長会議

砂がれい

名寄市に住んでいた幼少期。父は月に1から2回程度、オホーツクの雄武町まで釣りに行っていたが、これが憂鬱だった。釣果はとアイスボックスを開くと、ホタテやキンキが豊漁ではなく、下半身に黄色い線の入っているやや小ぶりのカレイがあふれんばかりに入っていた。「砂がれい」である。

子ども心で言えば、若干苦手部門に入っていた。煮付けにすると身はふわふわと頼りなく、湧き上がってくる砂がれい特有のにおいも微妙で、「こんな魚を釣りに、何で遠出する？」なんてことを密かに思っていた。しかも夜には大きな皿に30匹ほどが煮付けになって、供されるのである。それが苦手となれば、これはもう食事ではなく「輝け砂がれい大食い選手権」となる。

利尻の漁師の娘だった婆ちゃんも「砂がれいはそのままだと身に締まりがないから、油で揚げてそれを煮付けなければうまい」子供の耳には暗号のよ

うな言葉をつぶやいていた。これは味の評論ではなく、嫁と姑の争いの一端であつたのかもしれないが、2人とも天国へ旅立った今となつては、真相は不明である。遠足の日がやってきた。

当然弁当持参である。頭にはウインナ・卵焼き・海老フライなどの「輝け弁当のおかず達」が浮かんでいた。目的地に到着し、待ち望んでいたランチタイムがやってきた。開封して驚愕！お花畑のようなお母さん愛情たつぷり弁当ではなく、一面茶色でイメージ的には荒れ地のようである。

なんと砂がれいが二匹入っていた。子どもにとつて一大イベントの遠足で、かれいの煮付けが出現するのか？正直母の愛情を疑った。他に食べるものもないのでとりあえず口腔に投入。

なんとうまかった！それも超うまかったのである。頼りない身は、一晩煮汁に漬けられた事できりりとひきしまり、その煮汁もゼリー状に固まり、口当たりがなんとも素敵だった。冷え

たことで、素晴らしい変身をとげていた。以後「砂がれいの煮付け」はわが好物リストに載ることになる。

そしてその日の夜、父母の会話父「おい 今日のお弁当なんであんなにきらきらしてるのよ。カレイの煮付けでよかったのに」母「あつ間違えた。したらジュンの遠足弁当カレイしかなかったしよ」

思わずニヤリとしてしまい、小学生が大人の階段上るって事を実感した瞬間だった。



南極料理人 西村 淳
海上保安庁在職中、第30次、38次南極観測隊に参加、ドームふじ基地(当時)平均気温マイナス7℃で越冬した毎日を経験したアッセイ「面白南極料理人」を出版、映画化される。2009年(株)オーロラキッチンを設立。講演会、料理教室、商品開発等多方面で活動中。

- 01 南極料理人 西村 淳さんのおさかなコラム「砂がれい」
- 02 特集1 ぎょれんのほたて対策事業 令和6年度事業方針
- 06 特集2 令和6年度 漁協購販推進全道地区委員長会議
- 08 なみまるインフォメーション
- 10 浜の家族物語 東しゃこたん漁協／本間 聖悟さん ご家族
- 11 頭すっきり!! ブレイクタイム
- 12 大漁祈願! 浜のほっとニュース
- 13 みなさんのお便りでつくるページ なみまる おたより箱



屋根付き岸壁や高度衛生管理型荷捌き施設などが整備され、陸揚げから流通まで総合的な衛生管理を実現している古平漁港。6月にはうに漁が解禁となり、隣接の東しゃこたん漁協直売所は多くの観光客で賑わいます。

北海道のほたて 令和6年度事業方針

全道のほたての水揚げ数量は、近年は安定的な生産が続いています。一方で、へい死の発生、貝毒の高毒化、高水温化、労働力の低下など、安定生産が不安視される状況が続いています。さらにALPS処理水放出に伴う中国の全面禁輸措置によって消流が停滞する影響を受けています。そこで、今月は、道産ほたての生産・流通環境の見通しと、ぎょれんが北海道ほたて漁業振興協会と共に実施する流通・宣伝対策事業について特集します。

販売第一部 川崎部長に
話を聞きました



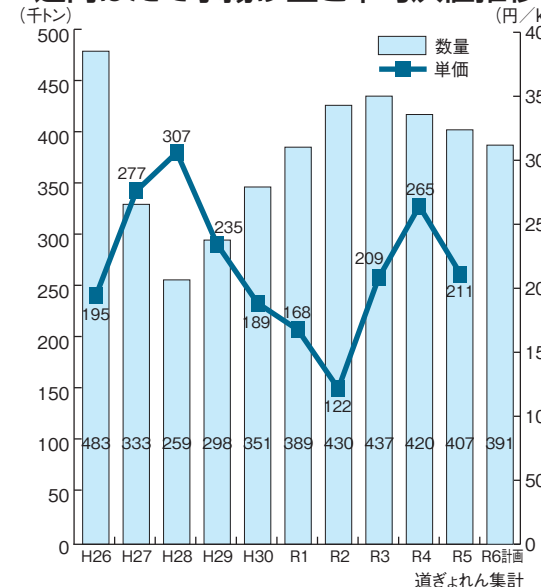
販売第一部 川崎部長

全道の水揚げ動向・今年度の見通し

全道水揚げは4年連続の40万トン超え

令和5年度の水揚げ実績は40万7千トンと昨年より下回りましたが、4年連続の40万トン台到達となりました。
原貝単価は、全道平均で211円/kgと昨年と比べ2割下げ、水揚げ金額は858億円となりました。
今年の水揚げ計画は39万1千トンと昨年より減少しますが資源的には高い水準となっています。
しかしながら、地区によっては高水温などの影響から稚貝のへい死や貝毒規制の長期化が懸念されるなど安定生産に対する不安もあります。
加工面では労働力の減少傾向に歯止めがかけられないため原料貝処理能力は年々低下して

道内ほたて水揚げ量と平均浜値推移



います。
また、人件費や水道光熱費、資材代などの経費の高騰は生産者にも加工業者にも大きな負担となっています。
北海道のほたて漁業は地域の基幹産業の位置づけにあり、それぞれの地区で取り巻く課題があるなかで、社会情勢に対応した実効性のある対策を「北海道ほたて漁業振興協会」と連携し、実施していく必要があると考えています。
いずれにしても、生産者の皆様が安心して水揚げできるよう、持続的かつ安定的な漁業の確立に向けて取り進めてまいります。

ALPS処理水放出が与えた影響

中国が水産物に禁輸措置、ほたて消費に混乱

8月24日にALPS処理水が放出されると同時に中国政府が日本産水産物の禁輸措置を講じました。
処理水が放出される前年は北海道で水揚げされたほたてのおおよそ2割は主に冷凍原料貝に加工され、中国に輸出していました。
放出後は冷凍原料貝の生産は抑制され、冷凍ほたて貝柱（以下、玉冷という）やボイルほたての生産が増加することになり、その生産量は近年では最高水準となりました。
製品は国内か中国以外の海外に販売する必要がありますが、大変混乱しましたが、それが大きく報道されたこともあり、国内でほたて消費を応援する機運が高まりました。
さまざまなかたちの応援をしていただき、昨年は近年にないほど多くのほたて製品を国内外で販売する結果となりました。

玉冷の生産・流通の現状と見通し

近年最多の生産数量と販売数量

禁輸措置の影響は大きく、昨年の道内の玉冷の生産量は約2万5千トン、道外での生産分と前年からの繰越在庫を含めた総供給量は史上最高となる3万トンに達したと推定して

います。

国内販売では、先述したようにほたての消費応援機運が高まり、量販店の店頭や回転寿司、ふるさと納税などすべての販売業態で積極的な販売展開がなされました。
輸出では為替が円安傾向であったこともあり、中国の禁輸措置を補って余りある数量の玉冷が米国や東南アジアに輸出されました。

その結果、近年最高水準である2万6千トンが国内外で販売され、4千トンが今年度への繰越在庫となりました。
新シーズンに入りましたが、依然として禁輸措置は継続されており、処理水への対応や不安定な為替動向など海外輸出は不透明な状況です。

まずは昨年形成した国内の売り場をしっかりと確保・拡大した上で、一定量の輸出が製品価格および浜値形成につながるものと考えています。

ボイルほたての生産・流通の見通し

2年連続で減産傾向

昨シーズンの噴火湾産ボイルほたての生産量は、4千トン台と前年より若干増加しましたが、製品価格は上昇しましたが生産量が少なかったため堅調に消化されました。
今シーズンは、前年並みの水揚げではあります。貝毒の長期的な発生や禁輸措置の影響から冷凍原料貝の生産が減少し、ボイルほ

たての生産量は増加すると推定しています。
近年は高値と生産減のためボイルほたての売り場は縮小傾向にありましたが、今年は積極的な販促展開を行い玉冷同様に売り場の拡大に努めます。

乾貝柱の生産・流通の見通し

コロナ後の海外、国内の販路整備強化

昨シーズンを振り返ると、繰越在庫は低水準ながらもALPS処理水放出前からのネガティブな報道による風評被害や税関の規制強化などから消流停滞を懸念し、市場には閉塞感が漂うなか、シーズンがスタートしました。
そのため、7月に行われた第1回値決会では香港側は大幅な値下げを希望してきましたが、ALPS処理水放出前であることや他の輸出国、国内の消流状況を鑑みて価格の下方修正を最小限に留め、販売を進めました。

その後は、8月の処理水放出に伴う、中国の禁輸措置による消流停滞が危惧されましたが、北米や台湾、東南アジア市場の需要の高まりや、インバウンド需要の回復、国内加工メーカーとの取組などに加えて、円安進行による恩恵もあり、シーズンを通して優位な販売を行うことができました。

今期は、禁輸措置の継続や香港の景気低迷、為替の変動など、先々の不安要素を抱えていますが、引き続き様々な販売チャネルを駆使し、安定消流に向けた対応策を講じていきます。



ほたてキャンペーンについて

では、継続していく予定です。航空会社、他、新千歳空港での広告展開をはじめとした道内への空の玄関口から、ビジョン広告を活用し、広告導線をつくり、消費喚起を図ります。他業種・他メーカー・各企業とも連



台湾国内でのほたてフェアを実施します

流通対策事業
国内市場対策
禁輸措置が継続中に水揚げが始まる今シーズン、昨年にも増して国内市場の基盤強化が不可欠です。
生鮮ほたて・ボイルほたて・玉冷と年間を通じて売り場を確保するよう「北海道ほたて漁業振興協会」と連携・協力し、需要の喚起、消費の活性化を行い、かつ安定的な供給を図れるよう対策を講じていきます。

海外輸出対策
冷凍品・生鮮品を合わせた昨年のほたて製品の輸出数量は禁輸措置の影響から冷凍原料貝の輸出が半減し、昨年比35%減になる7万7千トンにとどまりました。
東南アジアでは中国に代わる輸出国の台頭がみられるなど情勢は常に変化を続けています。輸出国のニーズや為替環境など状況を的確に把握したうえで、高品質な北海道産ほたての供給と国内外の需給バランスの適正化を念頭に、輸出促進に努めていきます。

食育活動
幼児から小・中・高・大・一般消費者まで、幅広い世代を対象とし、各世代に合った食育活動を展開するため、過年度制作した、食育ツール等を活用し、学校の授業力リキウムの一環としてほたてを学ぶ機会を創出していきます。

食育活動
食育活動では着ぐるみも活用した施策を実施していきます



食育活動では着ぐるみも活用した施策を実施していきます

また、一次産業全体を盛り上げるイベントの開催も予定しています。タッチプールや水槽展示、ほたてクイズなど「見て、学んで、体験する」とこと、「実際に食べてみる」までを一連とした食育を行い、道産ほたてを好きになるきっかけを作っていきます。

また、国内市場についても家庭内消費の定着化に向けた各種施策や加工メーカーへの販売拡充、さらに直近ではインバウンド需要も旺盛であることから、訪日外国人観光客への宣伝活動を実施し、国内販売の強化も図っていきます。

流通対策事業

国内市場対策

禁輸措置が継続中に水揚げが始まる今シーズン、昨年にも増して国内市場の基盤強化が不可欠です。

生鮮ほたて・ボイルほたて・玉冷と年間を通じて売り場を確保するよう「北海道ほたて漁業振興協会」と連携・協力し、需要の喚起、消費の活性化を行い、かつ安定的な供給を図れるよう対策を講じていきます。

海外輸出対策

冷凍品・生鮮品を合わせた昨年のほたて製品の輸出数量は禁輸措置の影響から冷凍原料貝の輸出が半減し、昨年比35%減になる7万7千トンにとどまりました。

東南アジアでは中国に代わる輸出国の台頭がみられるなど情勢は常に変化を続けています。輸出国のニーズや為替環境など状況を的確に把握したうえで、高品質な北海道産ほたての供給と国内外の需給バランスの適正化を念頭に、輸出促進に努めていきます。



貝毒対策

安心・安全の確保

急激な毒性値の上昇による貝毒の発生は常に起こり得ることであり、十分に注意を払っていく必要があります。

これまで複数回の海域で貝毒が発生し、解除に時間を要した結果、地域経済に影響を及ぼすことが幾度となくありました。

昨年は噴火湾地区において、高密度な麻痺性貝毒プランクトンの発生があり、プランクトン消滅後も高い毒性値が続いたことから貝毒規制が9カ月間にも及びました。

このような状況下でも継続した水揚げができるよう行政機関と協議を重ね、令和4年4月に続き、令和6年2月にも基準値の見直しを行いました。

今後も「北海道ほたて流通食品協会」と連携し、安全期、貝毒発生期を含めた円滑な水

宣伝事業

販売企画部 平野参事に

話を聞きました



販売企画部 平野参事

継続的な日本国内での消費喚起と世界各国へ向けた道産ほたてのPR

昨年、日本国内においては、流通面での先行きが不透明な状況が続くなか、円滑な商流を図るため、外食・量販店、各家庭での消費を促進する施策を行ってきました。2024年1～3月には「北海道の生産者から感謝の気持ちを込めて」をキャッチコピーに全国ほたてキャンペーンを行い、北海道から沖縄まで全国各地のビジョンでPR動画を放映するなど、継続した消費喚起を図りました。

今年度については、昨年度からの応援消費

に向けた消費喚起を今年度も実施していきます。

食育活動

幼児から小・中・高・大・一般消費者まで、幅広い世代を対象とし、各世代に合った食育活動を展開するため、過年度制作した、食育ツール等を活用し、学校の授業力リキウムの一環としてほたてを学ぶ機会を創出していきます。



食育活動では着ぐるみも活用した施策を実施していきます

また、一次産業全体を盛り上げるイベントの開催も予定しています。タッチプールや水槽展示、ほたてクイズなど「見て、学んで、体験する」とこと、「実際に食べてみる」までを一連とした食育を行い、道産ほたてを好きになるきっかけを作っていきます。

揚げと製品の安全性確保に向けた対策を実施していきます。

令和6年度の具体的推進事項

- (1) ぎょれんの組織強化活動の一環として購買部門との連携による活動強化
- (2) 漁協購販推進委員会の開催(全道地区委員長会議、漁協委員長・事務局長会議、漁協購販推進委員会)
- (3) 漁協購販推進地区委員長の視察研修の実施

令和5年度の主な活動

- (1) 漁業者、漁協役職員を対象にした各種研修会の開催(一部、WEBによる開催)
- (2) 購買事業と連動した系統ブランド資材の普及推進
- (3) 女性連・漁青連との連携による食育活動
- (4) 広報誌・ホームページを通じた情報提供
- (5) 道内外視察研修の実施

プラスチック物流資材で業界シェアトップ 三甲(株)の北海道第二工場を視察しました

会議翌日の5月9日(木)、さらなる購販推進活動の活性化やぎょれんが取り進める環境負荷低減への取組に対する理解を深め、機運が高まりつつある漁業資材リサイクル推進活動へ寄与していただくために、三甲(株)の北海道第二工場(千歳市)において、視察研修を実施しました。

ご参加いただいた各地区委員長には、系統ブランド資材の製造や廃棄漁業資材の再資源化の現場を実際にご確認いただき、その品質の高さの理由や今後のリサイクルの重要性など、今後の購販推進活動へさらなる意識向上が図られました。



澤居理事工場長(写真中央)より工場内の各施設などについてご説明いただきました



製造されたトロ函一つ一つにラベルを印刷



売れ筋製品の説明をする三甲北海道支店の山田取締役支店長

令和6年度 漁協購販推進全道地区 委員長会議が開催



5月8日(水)、札幌のぎょれん本所第一会議室で、令和6年度 漁協購販推進全道地区委員長会議が開催されました。会議ではぎょれんの令和6年度事業計画の説明、令和5年度の組織強化活動報告及び、令和6年度の購販推進活動方針、系統ブランド資材の取扱状況、漁業資材のリサイクル、直近の燃油動向、ぎょれんの持続可能な漁業を見据えた活動(SDGs)について、ぎょれん製品の紹介、全道地区委員長視察研修の実施などについて協議され、新年度の具体的な推進事項が承認されました。

また、質疑応答では国が導入に向け準備を進めているぶりのTAC適用や、ALPS処理水の海洋放出に伴う東京電力の補償について、現行の技能実習制度から移行される予定の外国人材の育成就労制度についてなど、北海道漁業へ大きな影響を及ぼす諸課題について議論が交わされると共に、系統ブランド資材の安定生産や漁網リサイクルの取り組みについての提言をいただくなど、地域の垣根を超えた意見交換が行われました。



左から小樽地区(東しゃこたん漁協)木村正城委員長、渡島地区(上磯郡漁協)高森茂貴委員長、胆振地区(室蘭漁協)北山信一委員長、日高地区(日高中央漁協)逢山義幸委員長、釧路地区(散布漁協)阿部浅納委員長



根室地区(標津漁協)小野瀬稔之委員長、北見地区(ウトロ漁協)大宮恭一委員長、宗谷地区(頓別漁協)山本賢一委員長、留萌地区(増毛漁協)櫛引一也委員長

北海道の海の幸で北海道コンサドーレ札幌を応援!

「しまふく寮」へ道産水産物を贈呈させていただきます

04

5月15日(水)、北海道コンサドーレ札幌のホームゲーム会場となった札幌ドームにおいて、「しまふく寮」への道産水産物贈呈式が行われました。

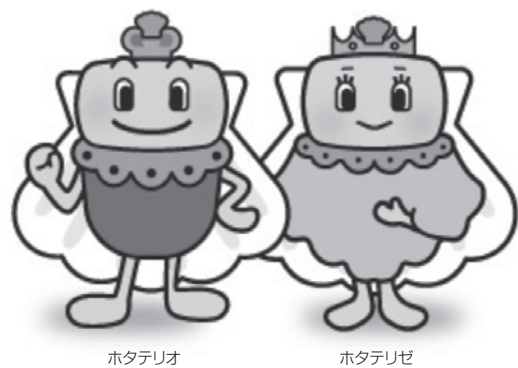
ぎょれんでは、過年度から「食で健やかな体づくりを目指すパートナー」として、北海道コンサドーレ札幌と共同で食育&スポーツ教室をはじめとした食育活動などを道内各地で実施しています。昨年に続きアカデミー寮生の生活拠点であり、トップ選手も食事に訪れる「しまふく寮」で栄養たっぷりの道産水産物を使った食事をしてもらうことで、選手たちのコンディション作りや健康維持の一助、ひいては北海道コンサドーレ札幌の一層の活躍に繋がてもらおうと秋鮭、ほたて、昆布をはじめとした道産水産物50万円相当分を寄贈します。当日は入場チケットが特別価格で販売される「誰でも仕事人ナイト」の開催日ということもあり、大勢のサポーターが見守るなか、寮生を代表して岡田大和選手に目録パネルを贈呈させていただきました。



ぎょれん安田専務より岡田選手へ目録パネルが手渡されました

北海道のおさかなキャラクターを大紹介します!

一昨年の秋に誕生した北海道の海の仲間たち「おーしゃんず」。ぎょれんの公式XなどのSNSや、最近イベントに着ぐるみが登場するなど、「見たことある!」と言う方も増えてきました。そこで今月号ではこの4人?のキャラクターを徹底紹介します。



ホタテリオ・ホタテリゼ

北海道の海のどこかにあるという貝殻の国「シェルトコ」のプリンスとプリンセス。プリプリの弾力のあるもち肌を持ち合わせています。北海道の海を海底から守る心優しく強いプリンス「ホタテリオ」の口癖は「〇〇かい?」で、プリンセスの「ホタテリゼ」をいつも気にかけています。優しさ溢れる王子は根っからのナイスガイ(貝)。

みなさん、それぞれのキャラクターの名前や特徴を覚えていただけたでしょうか?今月号からは「おーしゃんず」を題材にした4コマ漫画の連載がスタートしました(13Pに掲載)。これからも4人?の活躍を楽しみにして下さいね。

シャッケ船長

北海道の川から巣立っていく秋鮭の稚魚たちが、広い海を旅して生まれた川へ戻ってくることが出来るように、「シャッケ船長」が北海道の秋鮭を率いていきます。大海原で生き抜くために、秋鮭を一人前にする役目も。「こんぶらこ」や「ホタテリオ」が移動する時も、海を知り尽くした「シャッケ船長」と共に移動します。口癖は「シャッケー」で、北海道の「しゃっこい」海を意味し、気分がいい時などに、飛び出します。



こんぶらこ

栄養豊かで体にイイ北海道の昆布を食べて、いつまでも元気に、長生きして欲しいという願いから生まれた「こんぶらこ」。北海道を囲むあちらこちらの海底で、潮の流れに合わせてプラブラ踊っている姿が確認されたとかされないとか。とても平和な性格でのんびりやさんだけど、意外にしっかりもの。

※参考URL
<https://www.gyoren.or.jp/ikura/character.html>

中国の日本産水産物の輸入停止措置から8カ月

岸田首相へ国の支援策へのお礼と引き続きの対策を要請しました

01

北海道、道議会、ぎょれんの三者は、4月15日(月)、総理大臣官邸で岸田首相、村井内閣官房副長官、武部議員に対し、中国の日本産水産物の輸入禁止措置を受けてこれまでに実施された国内外における支援策へのお礼と、これからのさらなる対策の実施を要請しました。

要請団を代表して鈴木知事は、『「水産業を守る」政策パッケージ』をはじめ、地域の要望を踏まえた対策の追加や補正予算の確保、国をあげて行った国内外への消費拡大PRなどの支援策に対し、一番影響が懸念されていた道産ほたてを例に、国内での販売が促進されたことを強調、感謝の言葉を伝えました。

一方で、噴火湾産のほたてが盛漁期を迎え、さらには間もなくオホーツク産の水揚げも本格化し、年間を通して影響が懸念されることから、①先行きが不透明な中国による禁輸措置の即時撤廃、②国内外における消費の拡大、③国内加工体制の強化、へ万全の対策を講じること、さらに④東京電力の迅速かつ丁寧な賠償への対応を強く訴えました。



要請にあたり、阿部会長から岸田首相に道産水産物の贈呈も行われました

漁業者自らが行う海浜清掃運動が4年目に突入

令和6年度 全道なみまるクリーンアップ作戦が始まりました

02

ぎょれんの環境基本理念・環境方針に基づく海洋プラスチックごみ問題に対する具体的な取組として令和3年度より実施している「全道なみまるクリーンアップ作戦」。道内を10地区に分け、1年間で5地区を漁業者自らが行う海浜清掃活動として実施しており、今年度は松山管内、渡島管内、日高管内、根室管内、稚内管内で実施する計画となっています。

今年で4年目を迎えた「全道なみまるクリーンアップ作戦」の第1回目活動が、5月12日(日)、稚内管内の枝幸漁協問牧地区で行われました。この度の活動は、問牧漁港整備促進期成会、枝幸漁協と共同で実施されたもので、漁協の組合員や役職員、女性部員をはじめ水産系統団体関係者らが参加、漁港に繋がる斜路などを中心に清掃活動を行い、約100kg(速報値)のごみを回収しました。

また、本年度は活動開始に先駆け、関連会社と協力して4月24日(水)、「ぎょれん総合食品(小樽市銭函)」の敷地内を同社役職員とぎょれん環境部共同で清掃活動を実施しました。



枝幸漁協問牧地区での清掃活動には約40名が参加しました



年間の活動に先立ちぎょれん総合食品の敷地内で清掃活動を実施しました

道産ほたてを使用した限定メニューも登場

台湾のファミリーレストランで北海道ほたてフェアを開催しました

03

4月3日(水)~6月2日(日)までの約2カ月間、台湾企業のTECOグループが台湾国内で展開する日系ファミリーレストラン「ロイヤルパーク」12店舗にて「北海道ほたてフェア」を開催しました。

期間中は既存のほたてメニューに加えて、「ほたてとエビのブランソースの紙鍋」、「ほたてのニース風サラダ」、「ほたてと鴨肉のボルドレーズソース」、「ほたてと仔牛のリブローズのボルドレーズソース」の4メニューがフェア限定で提供され、期間中は多くの方に道産ほたてのおいしさや魅力を伝えるとともに、現地での消費拡大を図ることができました。



フェア期間限定で提供された「ほたてと鴨肉のボルドレーズソース」

シークワードクイズ

6月のテーマ「魚」

イ	ラ	イ	ハ	マ	チ	イ
ダ	ワ	イ	ダ	ロ	ク	シ
ナ	サ	ラ	グ	マ	ワ	モ
ハ	ル	マ	ヒ	イ	ア	チ
イ	タ	バ	ラ	ジ	ユ	シ
サ	レ	ハ	メ	ヒ	カ	リ
キ	シ	カ	タ	ヤ	ブ	モ

どれにも使用しなかった文字をうまく並べてください。

解答 □□□□ となります。

くわしい応募方法は、13ページをご覧ください。抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

コ	バ	デ	フ	ミ	ス	ヨ
ス	ト	デ	シ	マ	シ	ワ
タ	ベ	ツ	グ	キ	エ	ゴ
ソ	ン	ネ	レ	ス	シ	ム
フ	ツ	リ	ク	バ	ビ	ゴ
ト	ノ	ン	チ	ン	フ	シ
ツ	ン	ベ	ウ	コ	イ	ケ

5月号の解答と当選者 エンピツ

(神恵内村)オ バ バさん
(函館市)福 澤 美 都さん
(厚岸町)ベツタニマンさん
(厚岸町)エブロンばばさん
(羅臼町)羅臼の心配性の高齢者さん

6月は「魚」がテーマです。国産でまだ食べたことのない魚が結構ありますね。

図の中で、たて、よこ、ななめの一直線に下のリストのキーワードが読めるようになっています。

どこにあてはまるか探してください。すべて探し終わったら、どれにも使用しなかった文字をうまく並べかえてください。

リスト

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| ☐ アジ | ☐ ハタハタ |
| ☐ アマダイ | ☐ ハナダイ |
| ☐ アユ | ☐ ハマチ |
| ☐ イサキ | ☐ ヒラマサ |
| ☐ イシモチ | ☐ ヒラメ |
| ☐ イワシ | ☐ プリ |
| ☐ イワナ | ☐ マグロ |
| ☐ カレイ | ☐ マダラ |
| ☐ クロダイ | ☐ メバル |
| ☐ サワラ | ☐ メヒカリ |

〈ヒント〉水揚げされる産地にはあるようですが、私はこの魚のお寿司は食べたことがありません。

解き方

リストの言葉をマス目の中からタテ、ヨコ、ナナメの一直線に探していきます。文字は逆方向から読んでも、他の言葉と重複して読んでもOK。すべて見つけた後、使われなかった文字をうまく並べかえたと答え（魚の名前）になります。

例題

ア	コ	ン	ブ	リスト ☐ アキアジ ☐ コマイ ☐ プリ ☐ サンマ ☐ コンブ ☐ アサリ	ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ		キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ		ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ		ジ	コ	マ	イ

〈解答〉サバ

間違いさがし

間違いは5つです。

※右と左の絵には、5カ所の異なる点があります。さあ、見つけてください。
(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは13ページにあります。

表紙に登場いただいたご家族を紹介いたします。

今月の 浜の家族物語

東じゃこたん漁協 本間さんご家族



【本間さんご一家】 本間 聖悟さん(28歳)、まゆさん(28歳)、結風ちゃん(2歳)、星風ちゃん(8カ月)

※写真は聖悟さんの父 正朗さん、母 京子さんと共に

「浜の家族物語」では、「なみまるくん」の表紙に登場いただいたご家族を紹介します。今回は、東じゃこたん漁協の本間さんご一家です。

親の反対を押し切り、憧れの漁師に

現在、たこ箱、うに、鮭小定置、あわび、なまこなど年間を通じて様々な漁を行っている聖悟さん。これからの季節はうに漁が本格化し、殻剥きなどの陸周り作業を手伝う奥様のまゆさん共々、一番忙しい季節になります。

代々漁師で5代目という聖悟さんですが、実際に漁師になったのは4年前。地元の漁師の方の話を聞いたり、漁師のご親戚の手伝いをしたりしているうちに、漁師になりたいと思ってはいましたが、何分、漁師は絶対の安定が約束されている訳でもなく、一時はご両親が反対していたそう。結局、高校卒業後は社会勉強のためにと、配達関係の仕事に就きましたが、やはり「漁師になりたい」と24歳のときに一念発起。お父さまと違う漁業を志したこともあり、それまで貯めたお金で、引退される方の船を買い取ったりするなど、必要なものを一から調達し、漁師の道を歩み始めました。

自分たちの漁業で町を活性化

妻のまゆさんとは、共通の友人を通じて知り合いました。当時からまゆさんも「いつかは漁師の嫁になるかも?」と思ってお付き合いしていたそうで、漁師だった祖父を思い浮かべながら、聖悟さんを支えていこうと結婚に至りました。現在は新しい家族が増え、「生活が一変しましたが、子どもたちから元気をもらい働きに行けます」と話す聖悟さん。長女の結風ちゃんは、とにかく歌が大好き。そして好物はたこという子どもには珍しい一面も。次女の星風ちゃんは、まだまだ赤ちゃんですが、結風ちゃんと比べて、声も小さいのでおしとやかな女の子に成長するのかな?、とまゆさん。そんな子どもたちには、聖悟さんもまゆさんも、やりたいことがあれば好きなようにやらせてあげたいと口を揃えます。

この4月から青年部の部長に就任し、少し立場が変わった聖悟さんへ今後の目標を尋ねると「漁師や人口そのものが減少しているなかで、基幹産業である漁業を盛り上げることで、地域に人が集まり、町全体を活性化できるような活動をした」と力強く話してくれました。





第1回 おしゃんずのリーダーは誰なの?



11ページの間違ひさがしの答え



※「なみまるおたより箱」には①から③をご紹介します。
ご応募いただいた方の個人情報、図書カード
進呈やお便り、写真、イラスト等の掲載(氏名、
年齢、市町村名)にのみ使用いたします。写真や
イラストは返却できませんのでご了承ください。

ほたてのキャンペーン終了ご苦労様で
した。かわいいプラスチックエコパッ
クやオリジナルマグカップのペアとっ
ても良くできてたです。欲しいと思っ
ました。(たこのマリネ色)がきれい
です。たべたい!

(小樽市 小樽S.Sさん 75歳)

6月からウニ漁ですね。高齢ながらも
ウニむき作業は参加です。

(神恵内村 オババさん 86歳)



タイヤの交換時期に悩む季節がやっ
てきましたね。社会人2年目になった
私は、生活にも余裕が出てきて趣味
にうつつを抜かしています。この時期
のドライブスポットはどこがオススメ
なのでしょう。日中涼しい場所がいい
なあ。

(北見市 大分よりの使者さん 23歳)

救命胴衣は陸でも用意、津浪が来たら
救命胴衣が役立つと思います。水に
浮く、防寒になる、クッションになる、
光に反射する、笛も付いている、名前
も書ける。私は家族の数だけ陸に備え
てある。

(羅臼町 羅臼の心配性の高齢者さん)

耳吊りおわたったなあ...頑張れホタ
テ!!

(八雲町 母さん)

GWも終わり、次は夏休みまで勉強
がんばります!

(厚岸町 かいかいさん 10歳)

今月から「おしゃんず」の4コマ
漫画の連載が始まりました。なみまる
くんの誌面では青と黒の2色となっ
ていますが、HPではカラーでご覧いた
だけよう公開します。本誌9Pの各
キャラクター紹介を参考にしながら、
今度の展開を楽しんでいただくと嬉
しいです。

(古村)

編集後記

編集部からのお知らせ

皆様からの「お便り、写真、イ
ラスト」をお待ちしています!

次の①②③を明記の上ご応募ください。
抽選で5名様に図書カードをプレゼント
します。

- ①なみまるおたより箱への投稿(お便り、
写真、イラスト等)や、広報なみまる
くん6月号への感想(ご意見など)(※
150字程度まで)
- ②11ページのシークワードの答え
- ③住所氏名・年齢・電話番号

《宛先》
6月24日までにお送りください。

(郵便)
〒060-0003
札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎよれん 総務企画部広報担当
(FAX) 011-242-13543
(電子メール) info@gyoren.or.jp

news 海のほつとニュース

大漁祈願!

小樽

小女子漁は4月下旬より解禁となり
ましたが、今のところ水揚げがない
状況が続いています。道外でも資源
量の激減により禁漁となっている
地域も多く、厳しい状況が続いてい
ます。一方、うに漁が5月中旬より
解禁となりました。5月20日時点で数
量は昨年対比約84%ですが、価格は
昨年対比約126%となっています。漁
期終漁まで天候にめぐまれ、安全操
業となることを祈念しています。

室蘭

伊達、室蘭、虎杖浜、登別での春
定置網漁では、5月初旬から中旬にか
けて、本鱒・青鱒がまとまった水揚
げとなり、鱒類の水揚げが目立って
います。その他魚種についてもこれ
からの水揚げに期待します。一方、
噴火湾地区では6月中旬ごろから毛
がに籠漁も解禁予定となっており、今
後の豊漁を願うとともに、生産者の
皆様の安全操業を心より祈願してい
ます。

函館

6月1日から「するめいか漁」が解
禁となります。初セリの日には早朝よ
り多くの買人が集まり、場内は活気
に満ちます。なかでも生きたままの
鮮度で上場される「いけすいか」は
例年高値がついており、今年の価格
はいくらとなるのか期待が集まって
います。函館市内は観光客の方々
が増えていきますので、水揚げが回復
して多くの皆様に高鮮度のいか刺を味
わって頂きたいと願っています。

梶山

5月19日(日)に熊石春の風物詩
「熊石あわびの里フェスティバル」
が開催されました。このイベントは
今年で30回目を迎え、ひやま産の
あわびはもちろんのこと様々な名産
品を求めて参加者は全国各地から集
まっています。参加した方々は飲食
ブースでの活あわびの炭火焼や、海
産物セット販売の他、各種ショーや
ゲーム大会を楽しみました。

釧路

暖かい日が増え、春定置網漁が
始まりました。時鮭や本鱒が市場に
並び、宗八や鱈、まつかわも多く水
揚げされています。鮭鱒は今後の水
揚げに期待をしています。今年は日
本海側でいわしが大量に岸寄りして
大きな話題になりましたが、管内も
6月からいわしの水揚げが始まりま
す。好天が続く順調な出漁ができる
ことを祈っています。

日高

春定置網漁が盛漁期を迎えてお
り、5月21日現在の累計水揚げ数量は
前年対比で、時鮭が157%、本鱒が
103%と、本鱒は近年でも1番の豊
漁であった昨年をさらに上回る水揚げ
となっています。また青鱒も、5月
16日には管内で75tの水揚げがあ
り、前年対比835%と浜は活気づい
ています。引き続き、皆様の安全操業
と、豊漁が続くことを祈願していま
す。

根室

5月から春定置網漁が本格化し、時
鮭や本鱒を中心に水揚げされていま
すが、昨年より少ないため浜は今後
の漁が増えることを願っています。
一方、昆布については、流氷の接岸
から繁茂は前年より良くないことが
予想されていますが、6月からの貝殻
棹前昆布出漁に向けた準備が着々と
進められています。今後も皆様の安
全操業と豊漁を祈願しています。

北見

肌寒い日が続いていたオホーツ
ク地区ですが、6月に入ってようやく
暖かさを感じられるようになりました。
沿岸定置では旬商材である桜
鱒や時鮭が、春の底建漁ではかれい
類が中心に水揚げされています。一
方、ほたての本操業も順次始まり、
浜は賑わいを見せています。今後忙
しさが増していきますが、安全な操
業で、大漁となることを心より祈願
しています。

稚内

6月に入り、オホーツク地区ではほ
たて漁が最盛期を迎え、利礼地区で
はうに漁(のな)が解禁となり、浜
は活気づいています。今後は、夏な
まこ漁と昆布漁が解禁となることか
ら、浜はより一層忙しくなります。
これからも豊漁と安全操業が続くこ
とを願っています。

留萌

4月は非常に順調だったほたての
稚貝出荷も、5月に入ってからはや
や足踏み状態となっていました。大
方の地区では出荷を終え、今期の
出荷も終盤を迎えています。6月には
ひらめの水揚げが最盛期を迎え、
各地でうに漁、なまこ漁が始まりま
す。寒暖差の激しい時期ではありません
が、体調管理に留意し、今後も安
全操業と豊漁を祈念しています。

海知らぬ 無謀が招く 大惨事

公益社団法人 北海道海難防止・水難救済センター



ひやま漁協
品田 俊子さん



鮭の唐揚げ

今回は「鮭の唐揚げ」をご紹介します。

カリッと、サクサク!!ひと口大で食べやすく、お酒のおつまみや食卓にも一品欲しい時におすすめです。



材料 4人分

鮭……………	4切れ	(つけあわせ)	
塩こしょう ……	少々	レタス ……	4枚
唐揚げ粉…………	大さじ2	ミニトマト ……	8個
片栗粉……………	大さじ6	レモン……………	1/4個
サラダ油……………	適量		
塩……………	30g		

作り方

- ① 鮭を塩水で洗い、水気をよくきって骨を取り除きひと口大に切る。
- ② 鮭に塩こしょうで下味をつける。
- ③ 袋に唐揚げ粉と片栗粉を均等に混ぜ、その中に鮭を入れまんべんなくまぶす。
- ④ 180度くらいに熱した油に入れ、鮭が浮いてきたらひっくり返して全体がきつね色になったらあげる。
- ⑤ 野菜をそえて盛りつけたら出来上がり。